

# 梅酒飲み比べ ほろ酔い気分

## 特区認定美郷で「まつり」

全国初の梅酒特区に認定された吉野川市美郷地区で28日、「梅酒まつり」が始まり、県内外から訪れた多くの愛飲家から新酒に舌鼓を打った。29日まで。

旅館や農家民宿など五つの会場で飲み比べを楽しむ「梅酒めぐり」がメインイベント。特区でただ一人、リキュール製造免許を取得した東野宏一さん(67)＝美郷川俣Ⅱの製造場では、梅の品種や漬け方を変えた8種類を用意。来場者は「さわやかで飲みやすい」「こっちは深い味」と味や香りの違いをほろ酔い機嫌で楽しんでいた。

出来たての梅酒を味わう来場者＝吉野川市美郷川俣

梅酒や梅を使ったスイーツのレシピコンテストもあり、海陽町出身の料理研究家浜内千波さん(55)らがクレープなど応募39点を公開審査した。まつりは美郷の梅酒をPRしようと、住民や美郷商工会による実行委が初めて開いた。

